

— !後継社長が会社を黒字にする! —

# まずはココから やる事リスト



先代社長から会社を引き継いだが、  
どこから手をつければ良いのかがわからない。

我流を捨てて4つのステップを踏むことで、  
顧客からも社内からも信頼を勝ち取り、  
最強黒字企業に変えられる!

# ！後継社長が会社を黒字にする！

## まずはココからやる事リスト（フェーズ①～②）

最初の1年は何もしない フェーズ①	<input type="checkbox"/>	先代と変わらないことを社員、取引先、銀行にアピールする	<p><b>急激な変化で、従業員や取引先など周囲の人間を不安にさせてはいけない！</b></p> <p>先輩諸氏、周囲の人たちに意見を求め、謙虚であらねばなりません。</p> <p>社長が率先して人一倍汗をかくことで社員からの信頼を得る事ができます。</p>
	<input type="checkbox"/>	決済のハンコをひたすらに押す	<p><b>お金の流れと業務の詳細がみえてくる</b></p> <p>お金の流れを見ることで、人の流れ、物の流れ、仕事の流れを理解できます。</p> <p>1つずつ決裁をすることで、先代の不透明な申請を健全化することもできます。</p> <p>社長なしでは、決裁が下りない仕組みにすることで、社長に従う空気を作りましょう！</p>
	<input type="checkbox"/>	後継社長の改革は思いの見える化から	<p><b>社長の思いはいつも社員が目に見える手帳型経営計画書にまとめる！</b></p> <p>同時に創業者の理念を明確にし成文化すると良いでしょう。</p> <p>経営計画書に社長と会長の役割の違いを明記することも必要です。</p> <p>社長就任前や1年目に構想を練り、2年目以降に自分の方針が見える化します。</p> <p>自分の方針を元に影響の少ないところから改革を進めていきましょう。</p>
	<input type="checkbox"/>	前社長への報告を忘れない	<p><b>心配している前社長も報告をすることで安心する！</b></p> <p>前社長が心配していることを知りながら、</p> <p>新社長が全社長の心配を無視することはトラブルにつながります。</p> <p>ときに、判断を仰ぐことも躊躇してはいけません。</p>
	<input type="checkbox"/>	前社長の権威を活用する	<p><b>創業者、先輩、前社長の言葉を借りて話をする</b></p> <p>「自分はこう思う」と言うのではなく「創業者はこのように言っています」と社員に伝えることで、創業精神を理解し、敬っている社長を「立派な社長」と認識してもらえることでしょう。</p> <p>また同時に、創業精神が社内にも浸透していきます。</p>
社長がひとりで改善 フェーズ②	<input type="checkbox"/>	社長のトップ営業が黒字へのファーストステップ	<p><b>穴熊社長が会社を赤字にする！</b></p> <p>社長室に籠っているような穴熊社長は世の中の変化に気付くことができません。</p> <p>社長の仕事も増収増益のヒントも現場にあります。</p> <p>会社を変える一歩は社長のトップ営業です。</p>
	<input type="checkbox"/>	無借金をやめてお金をまわす	<p><b>経営は現金に始まり、現金に終わる</b></p> <p>会社が倒産するのは、キャッシュがないからです。</p> <p>経営で大切なことは「利益を出すこと」「黒字を維持すること」ではありません。</p> <p>「お金を回し続けること」です。</p> <p>たくさん借金をしてキャッシュを持ち、絶対に潰れない会社を実現させましょう。</p>